

第157回

定時株主総会
当日説明資料
(ご参考)

～ 本資料で引用する招集ご通知について～

本資料で引用している招集ご通知のページ数は、弊社ウェブサイトに掲載している、「第157回定時株主総会招集ご通知」に基づいております。

「第157回定時株主総会招集ご通知」は下記リンクからご覧いただけます。

第157回定時株主総会招集ご通知URL:

<https://www.yasuda-soko.co.jp/LinkClick.aspx?fileticket=Pr7sr%2beiyhA%3d&tabid=133>

1. 企業集団の現況に関する事項

日本経済

企業収益や雇用情勢に改善の動きがみられ、
景気は緩やかに回復

物価上昇やウクライナ、中東地域をめぐる
地政学的リスクの高まり、
中国経済の減速に加え米国の通商政策への懸念など、
先行きの見通せない状況

倉庫物流業界

- エネルギー・原材料価格高騰の影響
- 労働力不足への対応

予断を許さない状況ではあるものの
国内貨物・輸出入貨物ともに荷動きは堅調に推移

不動産業界

- 都市部におけるオフィスビルの空室率や賃料水準は改善・上昇傾向

コロナ禍で落ち込んだ需要に回復の兆し

物流事業

事業基盤の強化

- 付加価値の高いサービスの提供に向けたソリューションの強化とネットワークの拡充による取引の拡大

(株)オリエント・サービスをグループ会社化
シンガポールとインドに現地法人を設立

- 物流施設の拡充・増強

加須営業所の開設

芝浦営業所6号倉庫 リニューアル



不動産事業

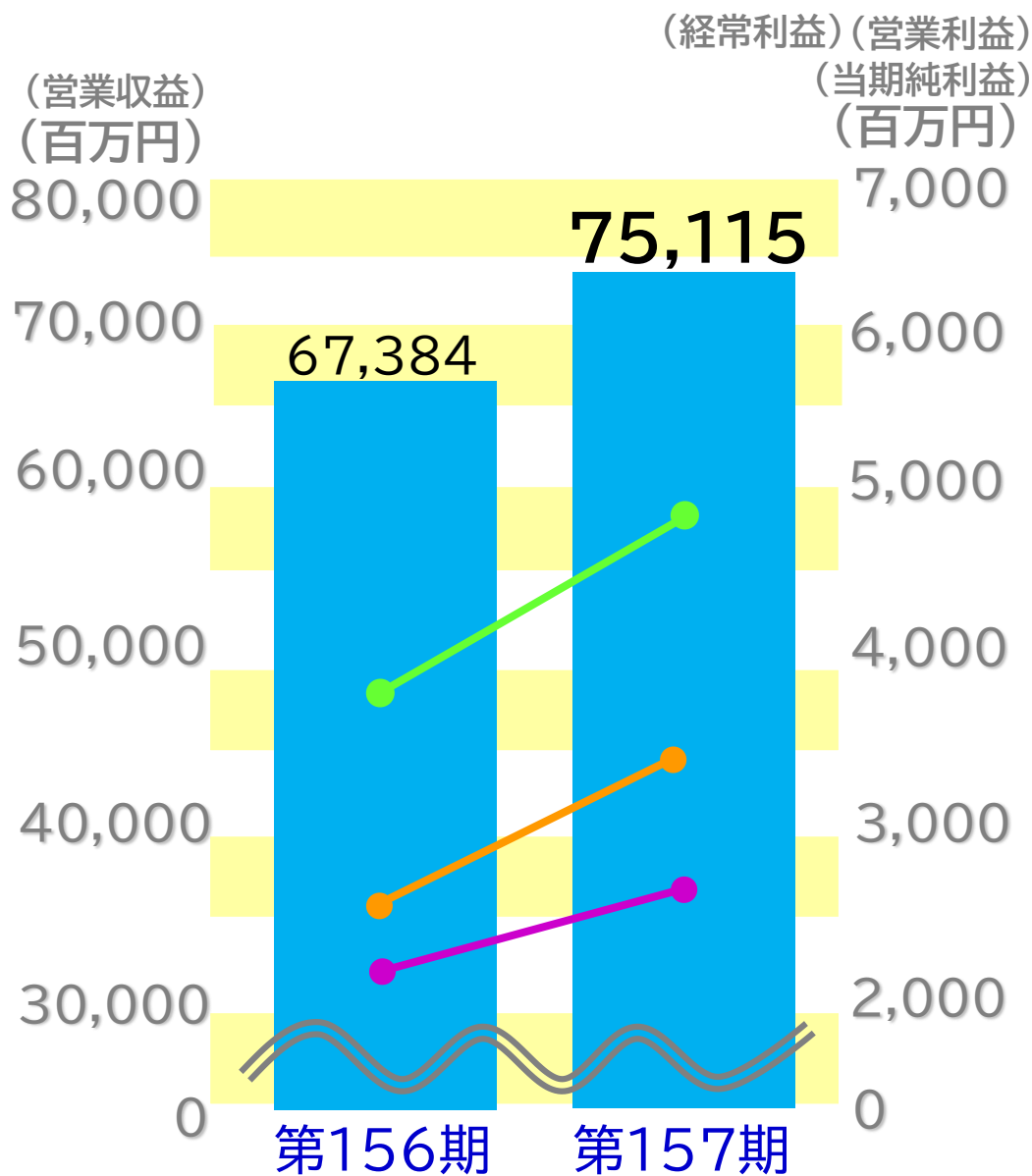
- 保有不動産の維持管理
- 保有不動産の価値向上施策
- 新施設の竣工
第8安田ビルの竣工
(クリニック・レジデンス複合施設)

稼働率の維持・向上

保有不動産の再開発



当連結会計年度の業績



営業収益

75,115百万円
前期比7,731百万円増
(11.5%増)

営業利益

3,515百万円
前期比871百万円増
(32.9%増)

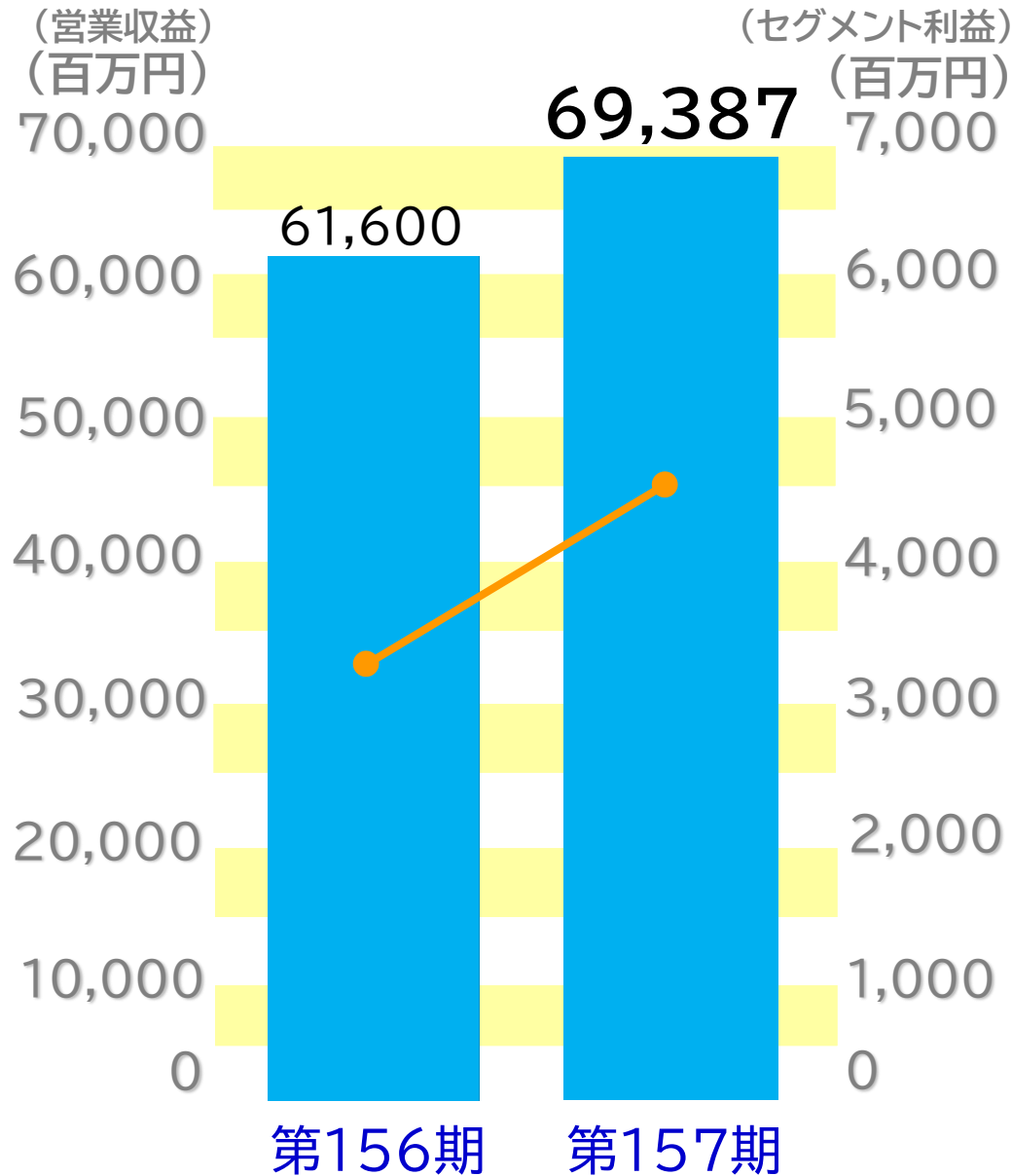
経常利益

4,977百万円
前期比1,024百万円増
(25.9%増)

親会社株主に
帰属する
当期純利益

2,802百万円
前期比496百万円増
(21.5%増)

対外公表した連結業績予想値を
いずれも達成



営業収益

69,387百万円

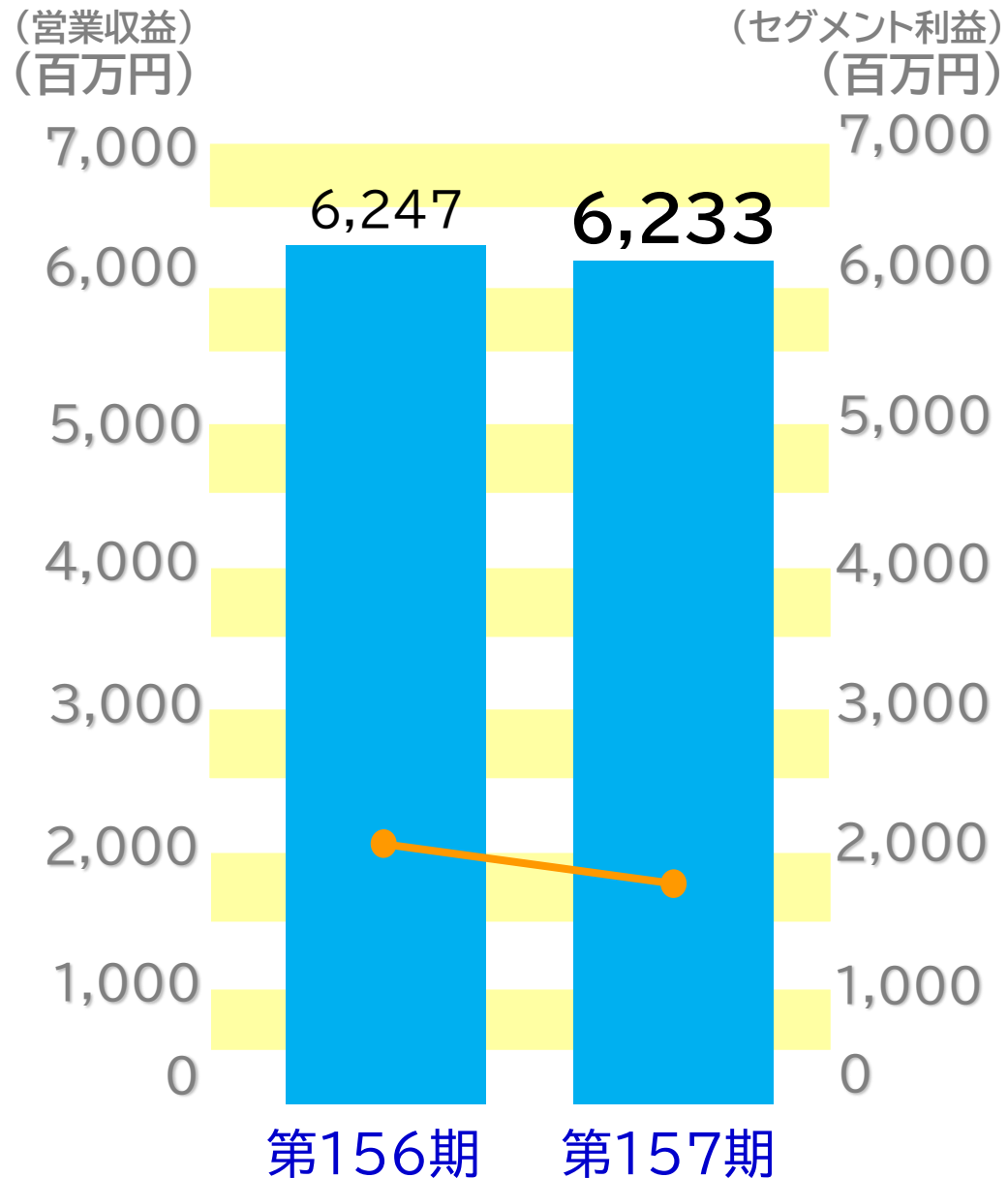
前期比7,787百万円増
(12.6%増)

**セグメント利益
(営業利益)**

4,567百万円

前期比1,219百万円増
(36.4%増)

- 新規取引の開始や既存顧客の取引拡大、
倉庫・輸配送ネットワークの拡充



営業収益

6,233百万円
前期比13百万円減
(0.2%減)

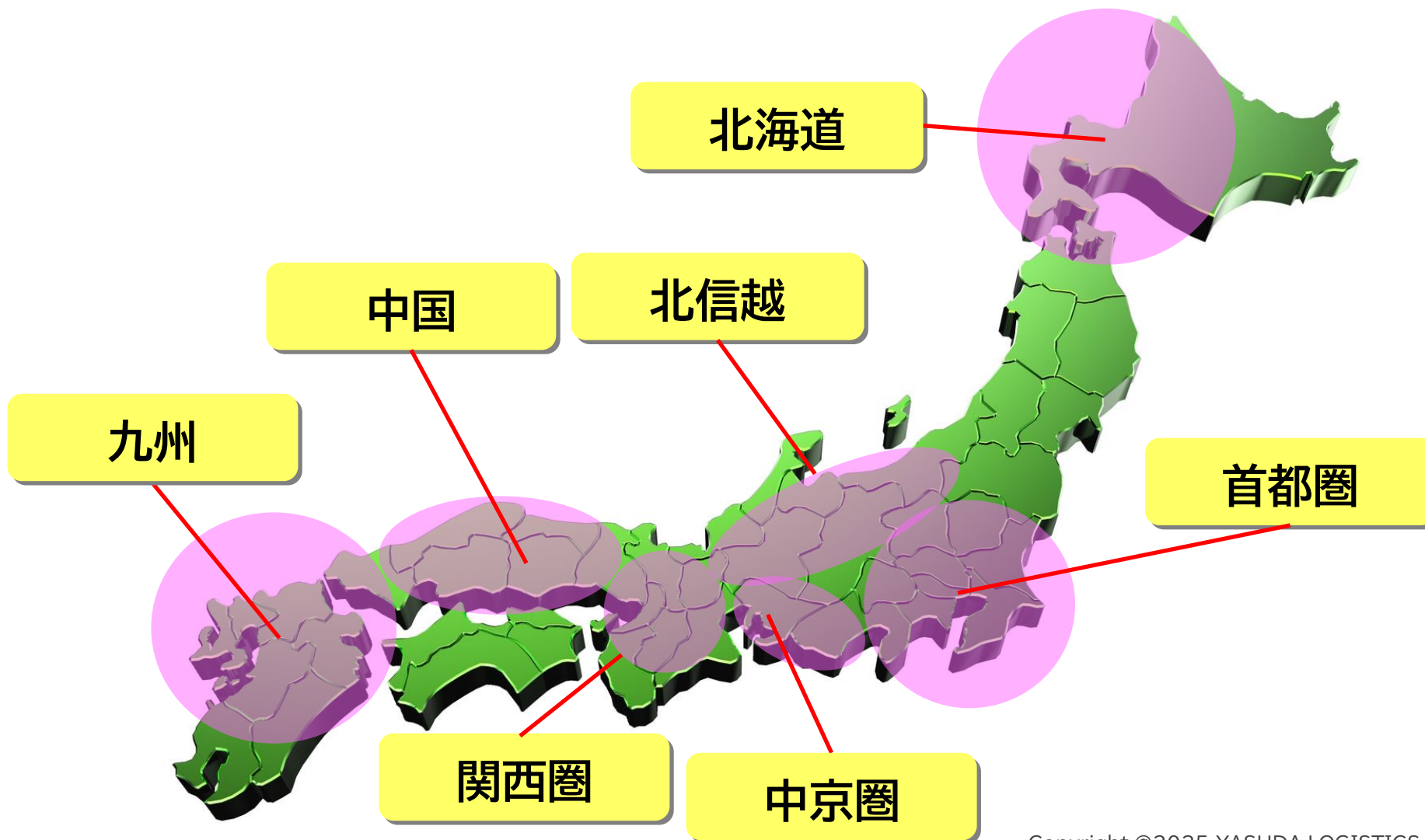
**セグメント利益
(営業利益)**

1,843百万円
前期比198百万円減
(9.7%減)

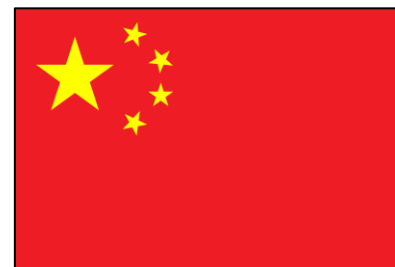
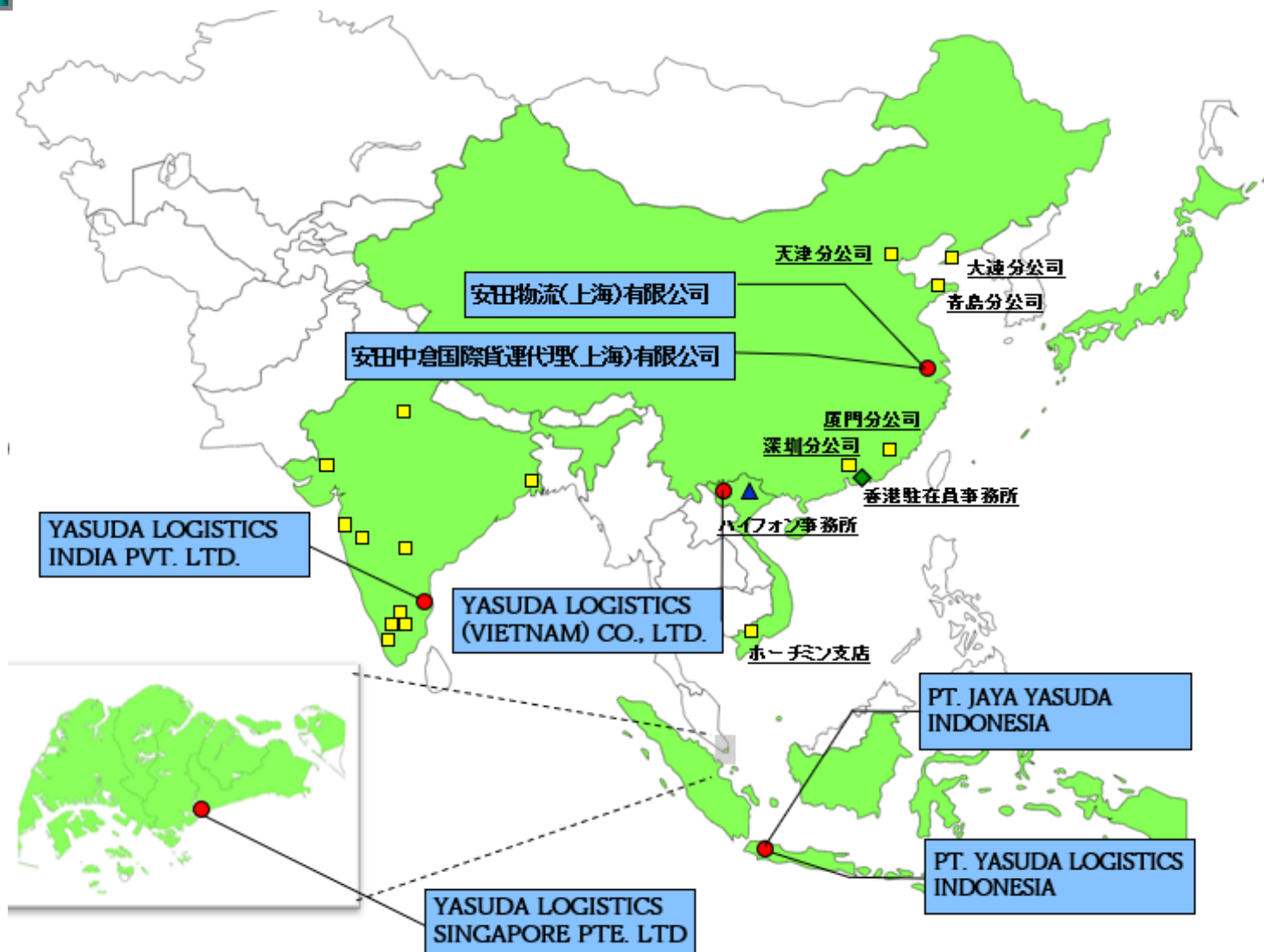
- ・ 施工工事は堅調に推移したものの不動産賃貸料の減少による影響

2. 企業集団の主要拠点等

国内事業拠点



海外事業拠点



- 海外現地法人
- 現地法人分公司／支店
- ▲ 現地法人事務所
- ◆ 駐在員事務所

3. 連結計算書類等

第157回招集ご通知 46ページ～48ページ
連結貸借対照表、連結損益計算書、
連結株主資本等変動計算書

第157回招集ご通知 49ページ～51ページ
貸借対照表、損益計算書、
株主資本等変動計算書

当社ウェブサイトに掲載
連結注記表、個別注記表

4. 会社の体制及び方針等

第157回招集ご通知 42ページ～44ページ
業務の適正を確保するための体制及び
運用状況の概要

当社ウェブサイトに掲載
株式会社の支配に関する基本方針

第157回招集ご通知 44ページ～45ページ
剰余金の配当等の決定に関する方針

第157回招集ご通知 33ページ～41ページ

会社の株式に関する事項

会社の新株予約権等に関する事項

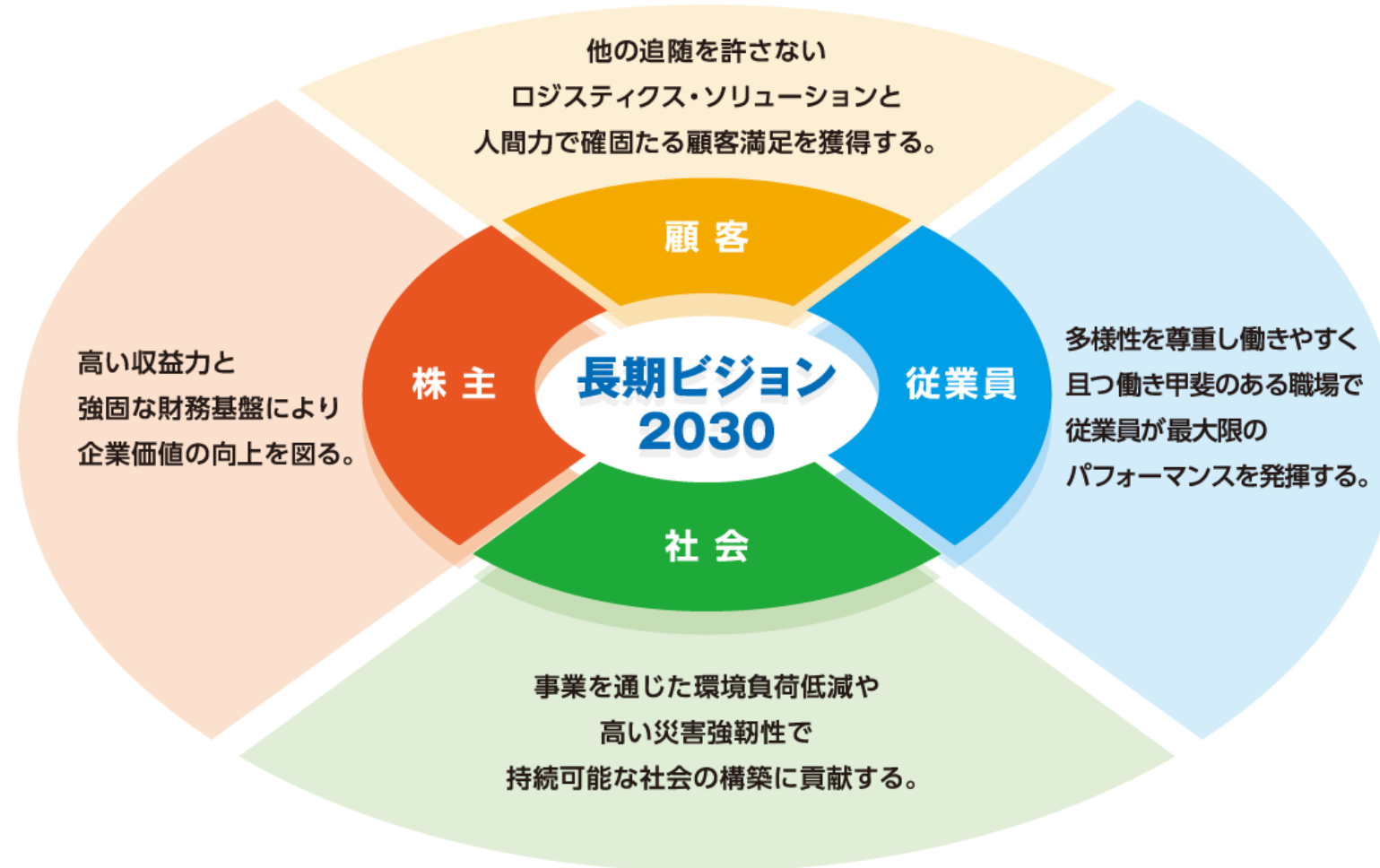
会社役員に関する事項

会計監査人の状況

5. 対処すべき課題

「長期ビジョン2030」～次の100年に向けて～

世界に誇れるYASDAブランドと革新的テクノロジーの融合で
全てのステークホルダーの期待を超える企業グループを目指す



変わらず、変える。
YASDA Next Challenge
2024

基本方針

最先端テクノロジーと人間力を融合した、「YASDA Value」で多様化する社会とお客様ニーズに応える。

YASDA Value =
お客様の声に真摯に耳を傾け
誠実にお応えする
安田倉庫グループで共有する価値

基本目標

物流

お客様のビジネス環境に合わせた最適なサービス提供と、既存の物流の領域に捉われない新サービスの創造

不動産

保有不動産の再開発による収益基盤の更なる強化

経営インフラ

社会環境の変化にも柔軟に対応できるサステナビリティ経営基盤と、確固たる現場力・人間力の確立

業績目標

2025年3月期

営業収益	650億円	営業利益	40億円
経常利益	48億円	営業利益率	6%

中計期間において、計360億円(物流事業280億円、不動産事業40億円、DXおよびシステム40億円)の投資を計画

倉庫・輸配送ネットワークの拡大

■「加須営業所」開設

埼玉県加須市において「加須営業所」を開設



医薬品専用の輸配送網と、医薬品管理に必要なGDP(医薬品の適正流通)ガイドラインに対応した新たな医薬品物流拠点として、医薬品物流サービスの更なる拡充を図ってまいります。



倉庫・輸配送ネットワークの拡大

■「(仮称)羽田営業所」の建設工事着手

東京都大田区において「(仮称)羽田営業所」の建設工事に着手



東京モノレール昭和島駅に隣接し、東京港、羽田空港、主要運送会社のターミナルに至近の立地であり、当社の近隣物流拠点である東雲営業所、東雲営業所辰巳倉庫と同様に、医療機器の洗浄・検査・メンテナンス業務の提供など、医療機器に関わる全ての業務が担えるメディカルロジスティクスセンターとして、2026年竣工を計画しております。



DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進

■国土交通省「物流施設におけるDX推進実証事業」の採択

九州営業所の医療機器物流におけるDX推進実証計画が
高く評価され、国土交通省の支援制度である
「物流施設におけるDX推進実証事業」に採択されました。



今後も業界での先進DX事例となるよう
各種プロジェクトを推進し、
社会やお客様の課題解決と当社グループの
さらなる収益性向上を目指します。



保有不動産の再開発

■第8安田ビル of 竣工

横浜駅西口鶴屋町地区において
クリニック・レジデンス複合施設を竣工



横浜駅から徒歩4分の大通り沿いに位置し、クリニックや薬局等が入居する「メディカルスクエア鶴屋町」と賃貸マンション「メゾン鶴屋町」で構成される複合用途ビルとなります。

今後もお客様のニーズにあった空間を提供すべく、横浜地区や東京芝浦地区に多数保有する不動産の再開発を推進してまいります。



サステナビリティへの取り組み

■CO₂排出量削減に向けた取り組み

●東雲営業所に太陽光発電設備を設置

●オフサイト型コーポレートPPA※の導入
芝浦営業所へ再生可能エネルギー由来の電力を供給するPPAを導入。

●余剰電力循環型太陽光PPA※の導入

九州営業所に設置した太陽光発電設備で発電した電力のうち余剰電力を他の事業者へ供給するPPAを導入。

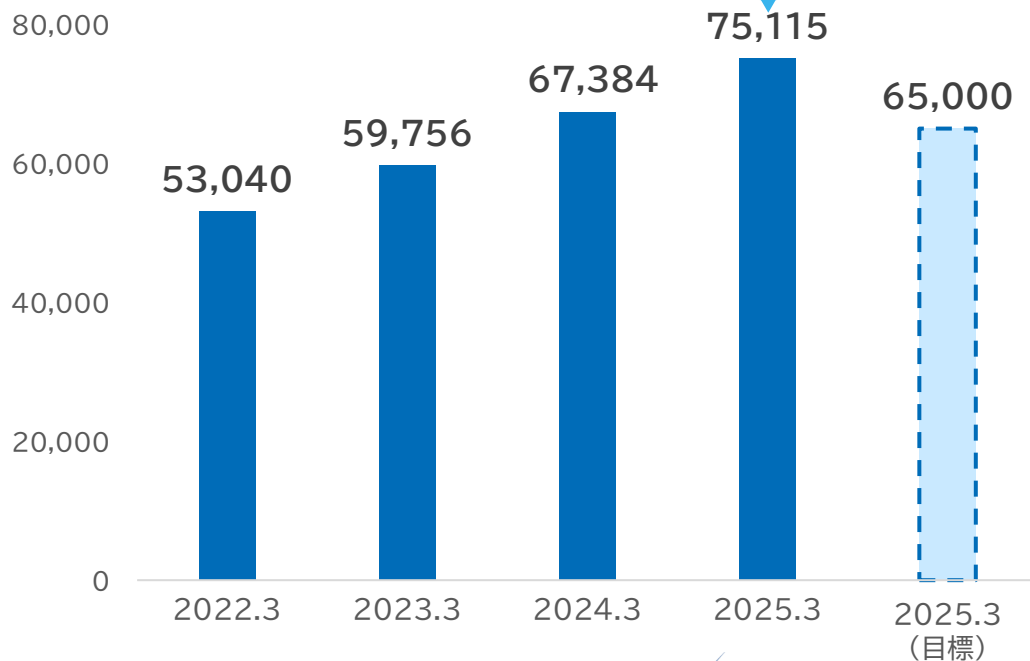


前中期経営計画の振り返り(業績)

既存施設の収益力向上とM&Aの推進により営業収益は目標を達成
投資額については、計画していた金額をやや上回る365億円を実施
先行投資による償却負担に加え、人件費など各種費用の増加により営業利益は目標未達も、経常利益は目標達成

営業収益

(百万円)

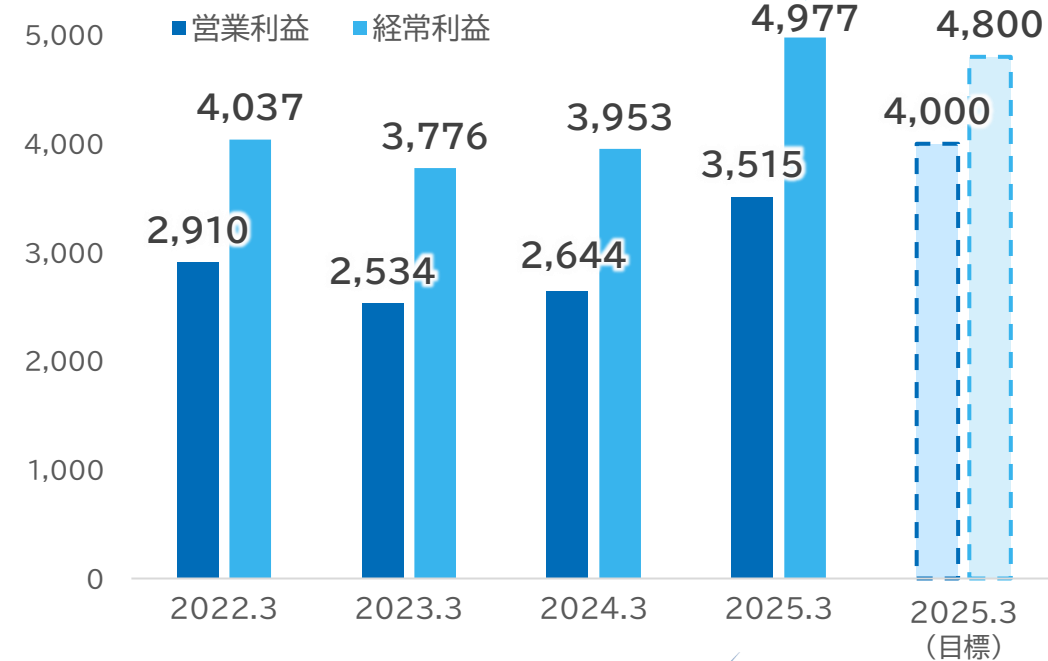


変わらず、~~変える。~~

YASUDA Next Challenge
2024

営業利益・経常利益

(百万円)



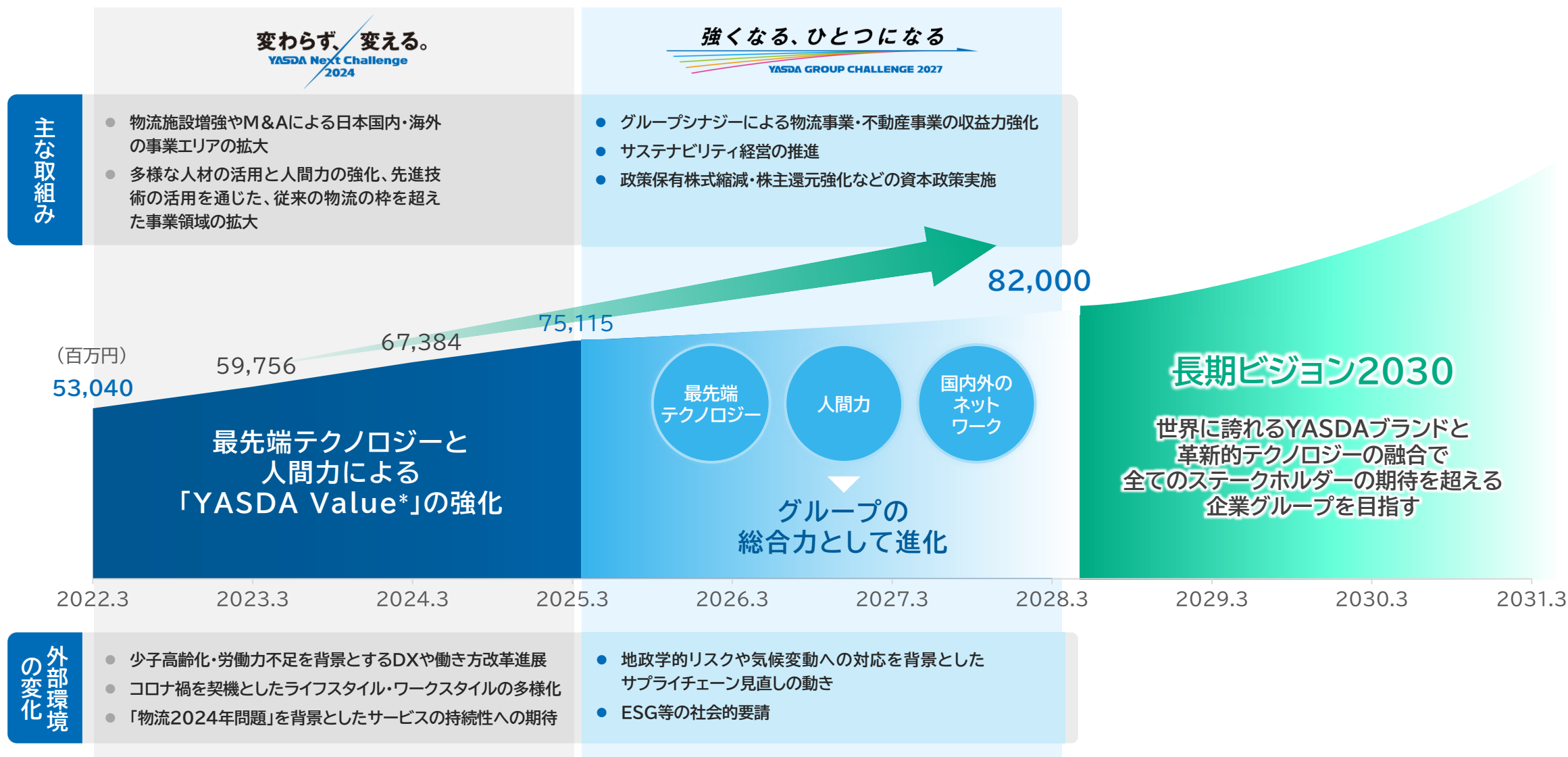
変わらず、~~変える。~~

YASUDA Next Challenge
2024

強くなる、ひとつになる

YASDA GROUP CHALLENGE 2027

長期ビジョン2030に向けた新中計の位置づけ



*YASDA Value: お客様の声に真摯に耳を傾け誠実にお応えする安田倉庫グループで共有する価値

強くなる、ひとつになる

YASUDA GROUP CHALLENGE 2027

基本方針

最先端テクノロジーと多様な人間力、そして国内外に広がるネットワーク。
安田倉庫グループの総合力を進化させ、
社会とお客様の期待を超える「YASDA Value」の提供を目指す。

基本戦略

物流事業

- グループ連携によるネットワーク拡充
- 潜在するニーズを捉えた高品質・高付加価値物流の提供
- 効率化・合理化の推進

不動産事業

- 保有不動産の維持管理・再開発を通じた価値向上
- 専門性を活かした不動産ソリューションの提供

経営インフラ

- 生産性向上
- サステナビリティ経営の推進
- グループガバナンス強化
- 持続的な成長を可能にする資本政策と財務健全性維持、株主還元強化

数値目標

2028年
3月期連結

営業
収益

820 億円

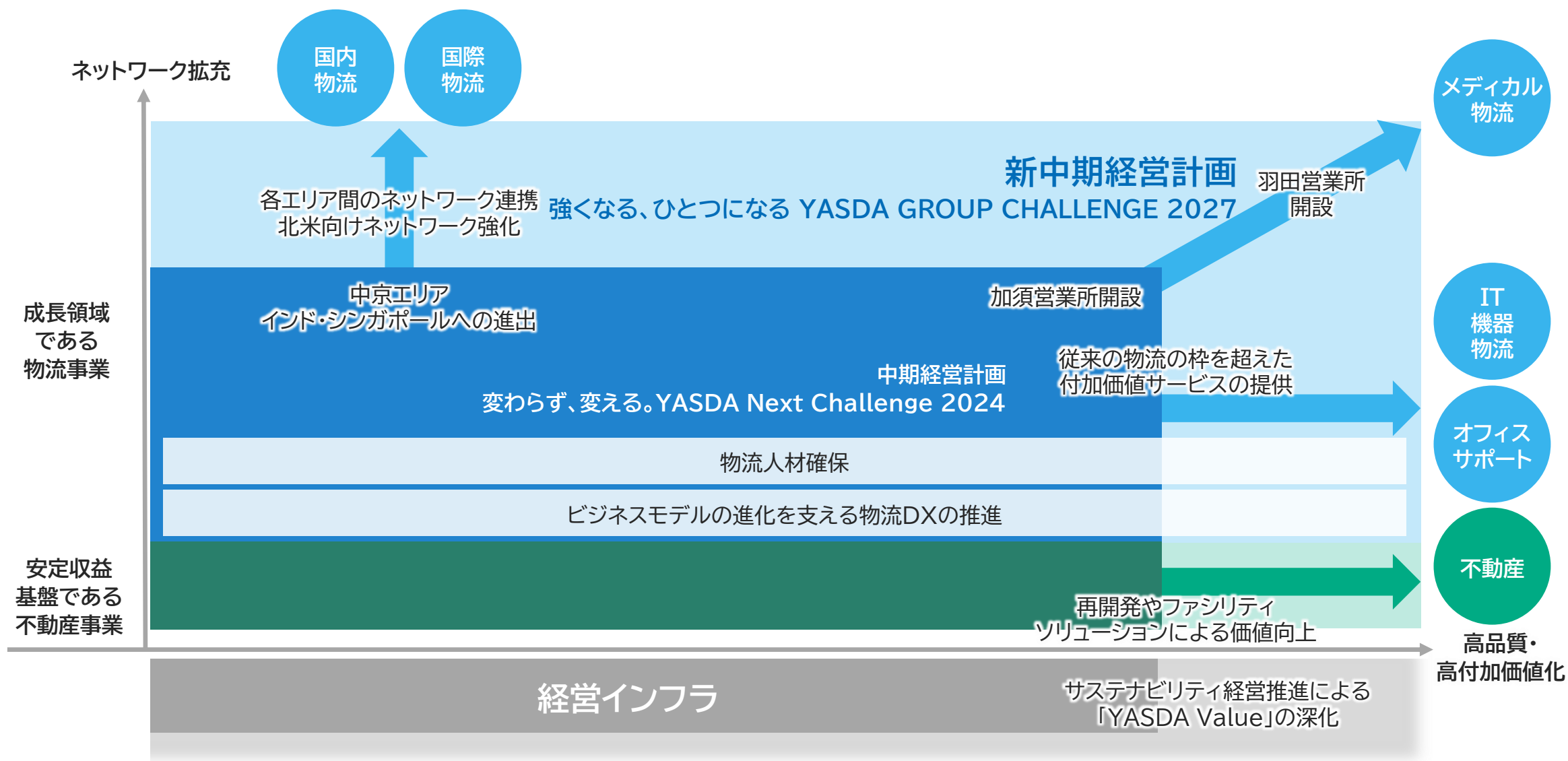
営業
利益

45 億円

ROE

5.5%以上

長期ビジョン2030における各事業の成長イメージ



強くなる、ひとつになる

YASDA GROUP CHALLENGE 2027

基本方針

最先端テクノロジーと多様な人間力、そして国内外に広がるネットワーク。
安田倉庫グループの総合力を進化させ、
社会とお客様の期待を超える「YASDA Value」の提供を目指す。

基本戦略

物流事業

- グループ連携によるネットワーク拡充
- 潜在するニーズを捉えた高品質・高付加価値物流の提供
- 効率化・合理化の推進

不動産事業

- 保有不動産の維持管理・再開発を通じた価値向上
- 専門性を活かした不動産ソリューションの提供

経営インフラ

- 生産性向上
- サステナビリティ経営の推進
- グループガバナンス強化
- 持続的な成長を可能にする資本政策と財務健全性維持、株主還元強化

数値目標

2028年
3月期連結

営業
収益

820 億円

営業
利益

45 億円

ROE

5.5%以上

強くなる、ひとつになる

YASDA GROUP CHALLENGE 2027

基本方針

最先端テクノロジーと多様な人間力、そして国内外に広がるネットワーク。
安田倉庫グループの総合力を進化させ、
社会とお客様の期待を超える「YASDA Value」の提供を目指す。

基本戦略

物流事業

- グループ連携によるネットワーク拡充
- 潜在するニーズを捉えた高品質・高付加価値物流の提供
- 効率化・合理化の推進

不動産事業

- 保有不動産の維持管理・再開発を通じた価値向上
- 専門性を活かした不動産ソリューションの提供

経営インフラ

- 生産性向上
- サステナビリティ経営の推進
- グループガバナンス強化
- 持続的な成長を可能にする資本政策と財務健全性維持、株主還元強化

数値目標

2028年
3月期連結

営業
収益

820 億円

営業
利益

45 億円

ROE

5.5%以上

営業CFや有利子負債の活用に加え、政策保有株式縮減(3年間で時価総額約100億円を目標)や資産入替えを通じ財務健全性を維持する
将来の稼ぐ力を高めるため営業CFの約1.5倍となる360億円の事業投資を実施しつつ、
累進配当や機動的な自己株式取得を通じた株主還元強化を目指す

● キャピタルアロケーション(新中計期間3年間)



物流事業 290億円

- (仮称)羽田営業所建設
 - 東京物流センター(吉川)の大規模リニューアル
 - オリエン特・サービス 春日井危険物倉庫建設
 - 守屋町営業所6号倉庫建替え
- ほか、物流事業戦略に資する拠点新設、設備投資、M&Aや、既存物流施設のリニューアルなどの投資枠とする

不動産事業 40億円

- 安田8号ビルの大規模リニューアル
- ほか、不動産事業戦略に資する再開発、設備投資や、既存施設のリニューアルなどの投資枠とする

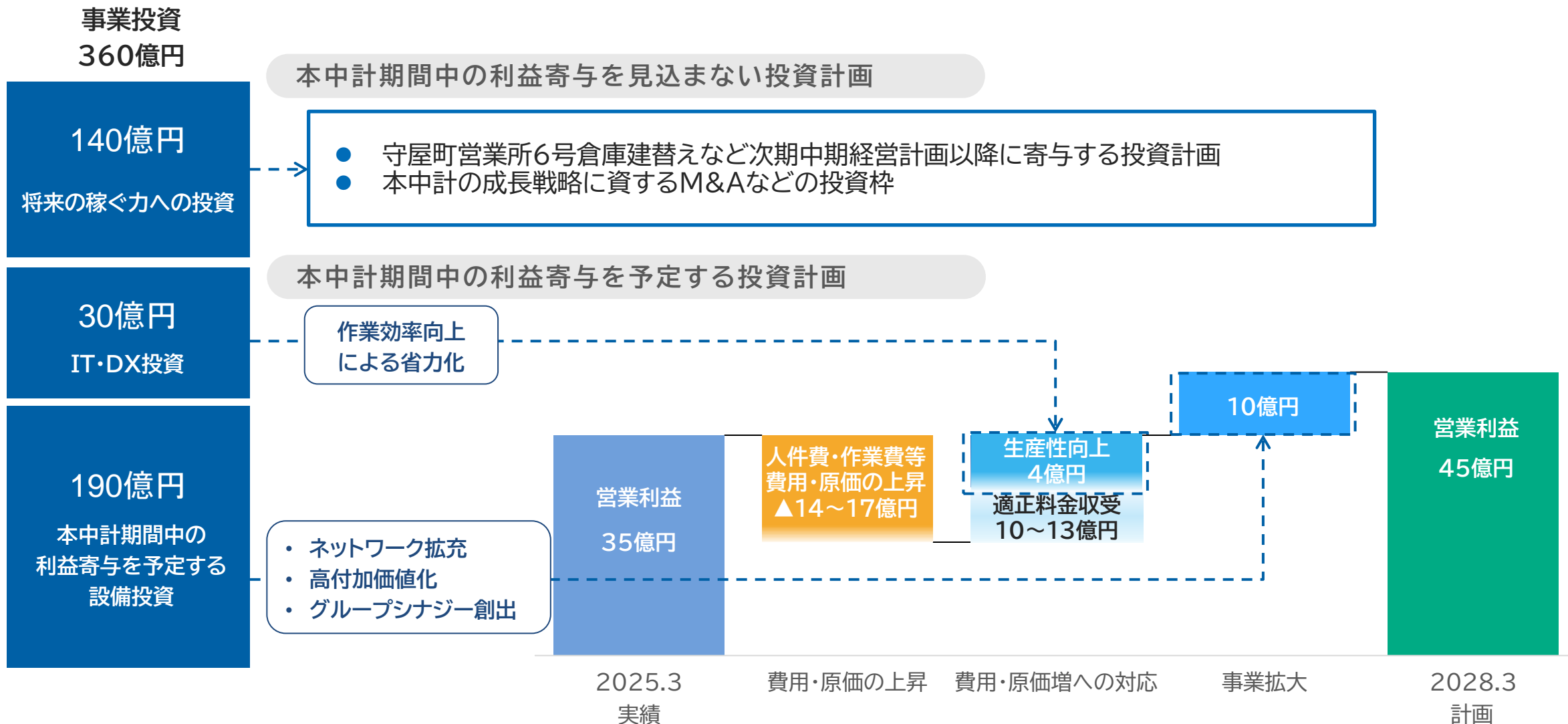
IT・DX 30億円

Next YOURS機能拡充や物流DXの推進に資する先進技術の導入、システム開発などの投資枠とする

累進配当の実施

機動的な自己株式取得の実施

中計期間中にDX投資や事業拡大投資が寄与し14億円程度の投資効果を見込む



これまで
連結配当性向30%以上
を目標

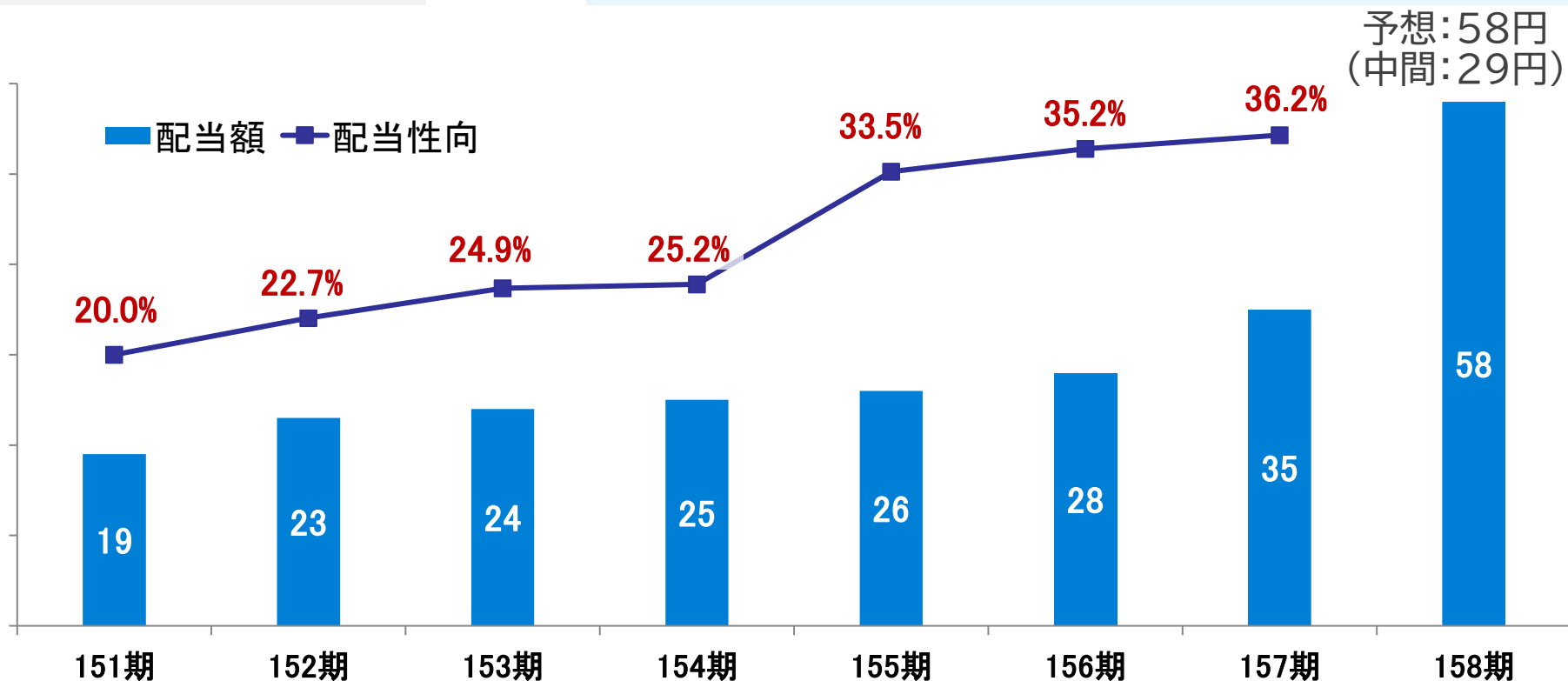


強くなる、ひとつになる (2026.3-2028.3)
YASDA GROUP CHALLENGE 2027

総還元性向45%を目安

累進配当かつ
連結配当性向30%下限

機動的な自己株式
取得を検討



第157回
定時株主総会
決議事項

第1号議案 第157期剰余金処分の件

期末配当金

1株につき20円

中間配当金とあわせ

1株につき年間35円

詳しくは第157回招集ご通知の5ページをご参照ください

第2号議案 取締役9名選任の件

- | | |
|----------|----------|
| 1. 藤井 信行 | 5. 井福 正博 |
| 2. 小川 一成 | 6. 周藤 晴子 |
| 3. 武藤 博幸 | 7. 東山 克之 |
| 4. 松井 正 | 8. 野上 宰門 |
| | 9. 征矢 真一 |

詳しくは第157回招集ご通知の6ページ~15ページをご参照ください

第3号議案 補欠監査役1名選任の件

吉田 宏二

詳しくは第157回招集ご通知の16ページをご参照ください

第1号議案 第157期剰余金処分の件

第2号議案 取締役9名選任の件

第3号議案 補欠監査役1名選任の件

ありがとうございました

